

小学生記者が
取材しました!

笑顔がふえる新施設

工事の現場に潜入取材!

北区内で行われている公共施設の整備について、4人の小学生広報記者が取材しました。昨年5月号で紹介した事業を含め、現在の状況についてお知らせします。

“ちあふる”って?

ちあふる=Cheerful
「元気のよい、明るい、楽しい」という意味で「利用者の元気や笑顔であふれる施設にしたい」という願いが込められた区保育・子育て支援センターの愛称です。



子育てを応援♪ ちあふる建設中!



北区保育・子育て支援センター（ちあふる・きた）
場所：市営住宅幌北団地2号棟
北区北25条西3丁目
工事期間：平成21年10月～23年11月中旬
【子ども未来局子育て支援課 ☎211-2985】

古くなり、建て替えが必要になった市営住宅幌北団地の住民から「建て替えに

どうしてこの場所に?」



説明を聞く可児記者（中）と小笠原記者（右）

市では、保育園を利用している家庭だけではなく、子育て中の全ての家庭への支援を進めています。「ちあふる」は、区内の保育園のリーダーとして、他の保育園を支援するほか、子育てサロンをはじめ、地域の子育てをサポートするさまざまな活動を行います。取材した「ちあふる・きた」は市内7カ所目で、平成24年4月に開設する予定です。

なぜ「ちあふる」を造るの?

当たり、子育てに関係する施設と一緒に作ってほしい」といった意見が寄せられました。この意見を市で検討し、団地に合体して造ることを決めました。2号棟（北25条西3丁目）の1、2階が「ちあふる・きた」になります。

どんな工事をしているの?

取材のときは、水道管を取り付けていましたが、水漏れのチェックに空気を利用していたことに驚きました。

子どもたちが遊ぶ部屋では「たくさん光が入るように窓を大きくします」「給食を作る様子が見える窓を付けます」などと教えてい

ただき、いろいろ工夫している点がわかりました。

また、音やほこりが近所の迷惑にならないようにシートで囲んだり「KY（危険予知）活動」に取り組んだり、常に安全に気を配っている点も印象的でした。



建設中の「ちあふる」内部も取材しました

市営住宅

ちあふる・きた



完成予想図